

井会員、小島会員。

<出席委員会>

渡邊委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1800回	42	29	13		69.05%
第1799回	42	42			100%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	27件	31,000円	799件	875,612円
財団	0件	0円	13件	186,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	120,000円
米山	0件	0円	25件	350,000円

本日のプログラム

<招聘卓話>

麻生消防署長 松澤孝行様

まもなく東日本大震災より5年が経とうとしています。東日本大震災の時は今まであまり想定されなかった大地震でマグニチュード9でした。大津波が発生し、1万9,000人以上の方が亡くなりました。都会型の地震というと1995年の阪神淡路大震災があり6,434の方が一瞬にして亡くなっております。原因は8割以上が建物倒壊でした。1月17日5時46分、無防備で寝ている時間に巨大地震が発生、M7.3でした。西日本は地震対策が遅れていました。なぜかという地震が少ないということ、台風の通り道であることから屋根を重くし台風には強い建物構造になっているということ。これは台風には強いけれど地震には弱いので多くの被害が出ました。負傷者も多く、家具の下敷きとなったりガラスで足を切ったりする方が多く出ました。震災のために気をつけることは、家具の転倒防止、自宅の耐震診断、耐震補強です。自分が寝ている時にタンスが倒れてきたり、頭の上に何か落ちてくる物がないかどうかチェックすることが必要です。子供部屋も危険がないかどうか確認してください。ありそうならL型金具などで転倒防止などの準備をすることが大切です。

私は消防署が殆どでしたが、総務省危機管理室に3年ほど出向したことがありました。その時に「出前講座」というものを立ち上げ、防災のあり方、市の備蓄状況を知らせたりしました。アルファ米などの備蓄品は実はあまり多くありません。各避難所にも備蓄しておりますがそれほど多くないということを知って市民の皆さんに分かって頂こうということで講座

を開きました。市民自ら備えて頂くことが大切です。南関東直下型地震、東海地震、南海地震といくつかの大地震が起きる可能性があります。南海トラフで地震が発生すると東日本大震災と阪神淡路大震災が同時に発生したくらいの規模の被害があり、政府の被害想定では32万人の方が亡くなる可能性があるとして予測されております。それをいかに防いでいくかが皆さんが心掛けていく防災対策かと思えます。

最近では今までにないような災害が多くあります。2014年8月20日、死者74人を出した広島土砂災害、2014年9月27日、死者58人を出した御嶽山の噴火災害、2015年9月13日に死者8人を出した東北豪雨による鬼怒川・渋井川堤防氾濫など災害が複雑多様化しているのを感じます。

阪神淡路大震災時には地域による助け合いが多く見られました。災害時誰に救出されたかというアンケートを取るとまず自分で何とかしたという方が一番多く、次に家族、その次が友人、隣人、最後に地域の方、通行人などです。統計では救助隊が救出するのは全体の1.7%ほどだと言われています。家族、地域の方の力が救出時には一番強いです。

防災用品についても“特別なもの”と勘違いしていませんか？家の中を見るとラップ、ウェットティッシュ、カセットコンロ、カップラーメン、ペットボトルの水、冷蔵庫の中には食べ物などだと思います。災害時にはそれらの物を食べたり使ったりして3日間生活して下さい。そこを過ぎれば色々な都市、企業から支援が来ます。避難所生活はプライバシーもなく大変ですので出来れば自宅で過ごせることが一番です。自宅の耐震補強が済んでいるのなら水など必要な物だけもらいに避難所へ行き、あとは自宅で過ごせるといいと思います。

3月1日より春の火災予防運動が始まります。住宅用火災警報器の設置促進をしておりますが、まだ8割ほどで不十分です。AEDが誰でも使用可能になって10年経過しました。心肺停止状態になって5分が勝負です。救急車の到着は全国平均8分ほどなので、救急車到着前に胸骨圧迫やAEDを使用することが有効です。



・鴨志田会長より松澤署長にお礼が渡されました。